

**令和5年度第2回萩医療圏地域医療構想調整会議 議事概要**  
**(令和5年度第1回萩地域保健医療対策協議会)**

【日 時】 令和5年10月25日（水） 19：00～20：00

【開催方法】 オンライン開催

【出席者】 出席者名簿のとおり

【議事内容】

- 第8次山口県保健医療計画の素案について説明を行った。
- 地域医療構想の進捗状況の検証を行うとともに、検証を踏まえて行う必要な対応等について合意した。

**1 第8次山口県保健医療計画素案について**

県医療政策課から、第8次山口県保健医療計画の素案について説明を行った。  
(主な意見・質問等)

- へき地医療について、萩市民病院はへき地医療拠点病院であるが、人材不足のため、へき地への支援を十分に行うことができていない。関係機関との連携体制を構築して、へき地医療を守っていく必要があるが、県からも支援をいただきたい。  
⇒ へき地医療については、圏域内での対応が難しい場合は、山口県へき地医療支援機構の調整により、圏域外から支援を提供する体制を構築している。関係機関の協力を得ながら、へき地医療を守っていきたいと考えている。

**2 令和4年度病床機能報告結果について**

**3 地域医療構想の進捗状況の検証について**

県医療政策課から、令和4年度病床機能報告結果について説明を行った。

また、令和5年度第1回調整会議で協議・合意した圏域全体の医療提供体制や各医療機関の役割分担の方向性等を踏まえ、地域医療構想の進捗状況の検証を行うとともに、圏域の課題を解決するための年度ごとの工程表の策定等について協議し、合意した。

(主な意見・質問等)

- 二次救急医療について、萩市民病院では、今年の8～9月に救急患者の受入れが非常に多く、病床確保に大変苦労したため、急性期を脱した患者が後方支援病院に速やかに転院できるような病床の運用について、関係者間でしっかり考えていきたい。